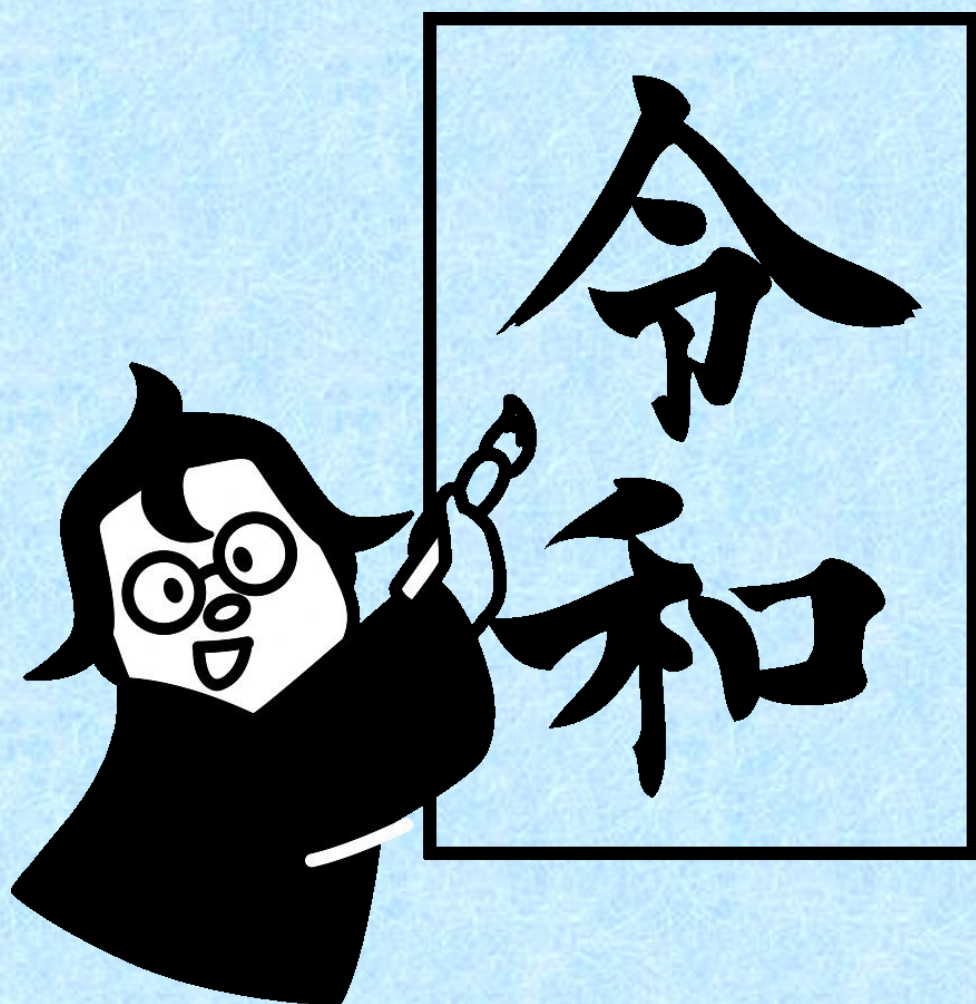


令和元年度
こども未来会議室
報告書



もくじ

はじめに P. 1

こども未来会議室の概要 P. 1

市民団体の紹介 P. 4

皆さんからの提案と市の回答 P. 5

1. 学校環境の改善 P. 5

2. 道路や交通の整備 P. 10

3. 高齢者、障害者、外国人にも優しいまちに P. 12

4. まちをもっとキレイに P. 15

5. 住みやすい環境づくり P. 19

6. 船橋をもっと盛り上げよう P. 23

実現した主な提案 P. 30

はじめに

「こども未来会議室」は、今年度で6回目を迎えました。市内の中学2年生を対象として、夏休み期間中、全4回にわたり、日頃から船橋市のまちづくりのために活動してくれている若い世代の市民団体の皆さんと連携して開催できたことは、まちづくりの上でも大きな意味を持っています。

各学校の代表として参加してくれた皆さんからは、中学生ならではの柔軟な発想から様々な提案をいただきましたが、大人では気づかない新しい提案や、船橋の未来を思う提案など、いずれも素晴らしいものばかりでした。

私は、この「こども未来会議室」を通して、将来を背負って立つ皆さんが、各学校で船橋のことを真剣に考えて話し合いをしてくれたことこそ、何より貴重な財産になると確信していますし、だからこそ皆さんからの提案を大切にしていきたいと思っています。

皆さんからいただいた素晴らしい提案に対して、市としてどのようなことが実現できるのか、関係部局と協議を重ねてこの報告書を作成しましたので、中学生の皆さん、ご家族の皆さんにもぜひ読んでいただければ幸いです。

中学生の皆さん素晴らしい提案をありがとう！

船橋市長 松戸 徹

こども未来会議室の概要

1. 名称

こども未来会議室 ～船橋の未来に“たね”をまこう～

2. 目的及び運営について

子供たちと市長が船橋の将来を語り合う場「こども未来会議室」は、船橋市の現状を子供たちに伝え、まちづくりを意識してもらうとともに、将来を見据えた意見交換を行い、市政運営に子供たちの視点を活かしていくことを目的として開催したものです。

「こども未来会議室」の企画及び運営は、市内の関係団体（さざんか募金運動推進協議会、船橋商工会議所青年部、船橋法人会青年部会、船橋青年会議所）と市役所の若手職員で立ち上げた「こども未来会議室プロジェクトチーム」が行いました。

3. 対象及び人数について

対象学校：市内28中学校（市立27校、私立1校）

対象生徒：中学2年生

参加人数：各校2名

4. 事前学習

「こども未来会議室」に参加する準備として全市立中学校で行われた事前学習は、中学2年生全員が参加し、「こども未来会議室」のテーマ【「私たちが市長になったら〇〇します！」～魅力あるまち船橋へ～】について話し合いが行われました。

この事前学習では、一人ひとりが船橋の将来についてしっかりと考え、船橋市民であることを自覚し、地域の発展にかかわる意欲を持ってもらうことができたと思います。



宮本中の事前学習



飯山満中の事前学習



小室中の事前学習

5. 実施内容

第1部 テーマに沿った意見発表

【「私たちが市長になったら〇〇します！」～魅力あるまち船橋へ～】というテーマについて、事前学習でまとめた意見を、各学校の代表生徒が市長に向けて発表しました。

学校ごとに工夫を凝らした発表で、「夏休みを短縮します！」「体育館にエアコンを設置します！」といった学校生活に関係する提案のほか、「千葉ジェットふなばしと共同で市をPRします！」「ばか面をもっと有名にします！」「ゆるキャラで船橋市を盛り上げます！」といった地元愛にあふれた提案、「写真コンテストを開催します！」「田んぼアートを作ります！」といった若者らしい発想の提案、「ごみ回収を20～22時にします！」「交通渋滞を減らします！」「高齢者ドライバーに対する支援をします！」といった日常生活に直結するような提案など、さまざまな提案が市長に伝えられました。

発表後は市長から、提案一つひとつに対する市の現状や今後の取り組みなど丁寧に説明がありました。



第2部 市長室見学ツアー

市長から、市長室全体の案内、市長室での仕事内容、市のさまざまなことを決定する「決裁」に関する説明などがありました。その後、市長の椅子に座って市長や船えもんと一緒に記念撮影をしました。

皆さん市長の説明に熱心に耳を傾けており、市職員でもなかなか入ることのない市長室に興味津々の様子でした。



6. 開催日時及びブロック割について

他地域の生徒と意見交換ができるよう地域を混合し、全4回開催しました。

■開催時間 13:00～16:30

■場所：市役所9階 第1会議室

開催日	第1回	第2回	第3回	第4回
	8月5日(月)	8月7日(水)	8月8日(木)	8月9日(金)
参加校 各校2名	宮本中	船橋中	湊中	海神中
	旭中	若松中	葛飾中	行田中
	高根中	二宮中	法田中	飯山満中
	八木が谷中	七林中	御滝中	三田中
	金杉台中	三山中	芝山中	古和釜中
	前原中	高根台中	習志野台中	大穴中
	(私立)千葉日本大学第一中	坪井中	豊富中	小室中
学校数：合計28校	7	7	7	7
生徒数：合計55名	14	13	14	14



第1回 集合写真



第2回 集合写真



第3回 集合写真



第4回 集合写真

市民団体の紹介

「こども未来会議室」の開催にあたり、
企画から運営まで携わっていただいた市民団体を紹介します！

さざんか募金運動推進協議会

JR・東武アーバンパークライン船橋駅コンコースにシンボル像「さっちゃん像」があり、皆さんの待ち合わせスポットとして活用されていて、実は募金箱になっています。

主に、青少年健全育成のための事業などに資金援助や、母子・父子家庭の高校生・障害児を対象に、奨学金を給付したりしています。



船橋市民のシンボル
さざんかさっちゃん



船橋商工会議所青年部

私たち船橋商工会議所青年部（船橋YEG）は、次代の地域経済を担う後継者の相互研鑽の場として、また、青年経済人として資質向上と日本全国の商工会議所との交流や国際研修事業などを通じ、己の企業の発展と豊かな地域経済社会を築くことを目的としています。

船橋商工会議所青年部は、各委員会にてさまざまな事業を展開しています。

私たちは、船橋が本当に好きで、明るい豊かなまちにしたいと考える団体です。



船橋法人会青年部会

会社を経営するには切っても切り離せないのが納税（税金）です。法人会というのは、全国に100万社の会員企業があり、「税」をキーワードに健全な会社経営、経営者育成を目指し、研修会や専門的勉強会、親睦会など税務署や関係諸団体の協力を得て、さまざまな事業やイベントを開催しています。

その中でも青年部会は、50歳までの経営者や次世代の企業経営者になる若者に更なるステップアップや仲間を増やし、友情を育むことを目的に掲げて地域の発展と企業の繁栄を目指し、活動している団体です。



船橋青年会議所

船橋青年会議所とは、20歳から40歳までの青年が明るい豊かな社会の実現を理想とし、「修練」「奉仕」「友情」の3つの信条のもと、よりよい社会づくりを目指し、ボランティアや行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいる団体です。

また、国際的の組織でもあり、世界125か国に17万人を超える会員がおり、日本では全国47都道府県698の地域に約3万6千人の会員がいます。40歳で卒業となりますが、卒業されたOBは世界で250万人以上おり、元米国大統領のビル・クリントンやマイクロソフト創業者のビル・ゲイツなども所属していました。日本では元内閣総理大臣の小泉純一郎、その息子である現環境大臣の小泉進次郎なども現役で活動しています。

船橋青年会議所では、次代の社会の担い手、推進力として明るい豊かなまちづくりの実現のために、市民運動の先頭に立って活動しています。



皆さんからの提案と市の回答



1. 学校環境の改善

教材のタブレット化をすすめます！【金杉台中】

教材のタブレット化は、教科書やノートを持ち運ぶ必要がなくなったり、家庭での学習につながったり、ロッカーや黒板が不要となることで教室を広く使うことができたり、紙の削減にもなるなど、さまざまなメリットがあるため推進したいという提案でした。

<市の回答>

教材をタブレット化することは、提案のとおり多くのメリットがあると思いますが、市内には小学生が約33,000人、中学生が約15,000人おり、市内の小中学生全員にタブレットを配るためには、多くの費用がかかることに加え、使用する教材の電子化やネットワーク環境の整備など、さまざまな課題があります。

市では、千葉工業大学の卒業生が使わなくなったタブレットの寄付を受けており、現在約900台が市内53小学校に各校10～40台ずつ配られています。インターネットには接続せず、主にカメラ機能やビデオ機能を中心に活用しています。教材として小中学生全員へ配付することは、今後の課題であると考えています。

中学校を今よりもグローバルな場にします！【船橋中】

船橋中に昨年から今年にかけて転入してきた5名の外国の友達に話を聞くと、全員が日本語に不安を抱えていました。友達として何かできないかと考え、テストや授業などの学校生活上の不安を解消するために、母国語での作文を認めたり、テストにふりがなをつけたり、日本語指導員を学校に常駐させたいという提案でした。

<市の回答>

日本語がよくわからない児童生徒がいる学校には、日本語指導ができる指導員を派遣しています。児童生徒の支援を行うために、指導員と学級担任が児童生徒一人ひとりの日本語のレベルに合った指導計画を作成し、日本語指導をしています。

今後も、日本語指導が必要な学校に派遣できるように千葉県国際交流センターとも連携し、広く人材を確保する体制を整えていきます。

また、コミュニケーションツールとして、日本語指導が必要な生徒が在籍している中学校に翻訳機を導入する予定です。

「ひまわり110番」を分かりやすくします！【高根中】

小中学生が安心して登下校できる船橋市にするために、分かりにくいと感じる110番の家の場所を分かりやすくしたいと考え、学区ごとに110番の家マップを作成したり、船えもんを取り入れた親しみやすいひまわり110番プレートを作成したいという提案でした。

<市の回答>

「ひまわり110番」は、市ではなくPTA連合会が管理しています。そこで、PTA連合会の方に話を聞いたところ、「ひまわり110番のプレートは令和元年度において、全体で3,420箇所設置しています。設置は、各学校のPTAが行っており、協力いただける家やお店、公共施設にお願いをし、門やフェンスなど見やすい場所に設置しています。」とのことでした。

また、提案いただいた内容については、「110番の家マップは、すでに作成している学校もありますので、その取り組みの事例を各学校に紹介していきたいと考えています。また、プレートには、すでに反射板は取り付けています。デザインは、長い間皆さんに定着していますが、新たなデザインも中学生の意見をふまえて検討してみたいと思います。」とのことでした。

教育委員会としては、今回の提案も含め、今後もPTA連合会へ他市の取り組み事例を紹介するなどの情報交換を行っていきます。



高根中考案の
110番プレート

校門に警備員を配置し、保護者証を統一します！【習志野台中】

小中学生が安全に学習でき、保護者も安心して学校に通わせることができる環境に近づけられるように、校門に警備員を配置し、学校関係者かどうかの区別がつくように保護者証を統一したいという提案でした。

<市の回答>

警備員の導入にあたっては、防犯面を考えるのであれば、市内全校の正門や裏門などすべての門に配置する必要がある、人数や費用など課題が多いことから、警備員の配置については考えていませんが、現在の防犯対策として、市内全ての学校の校門に防犯カメラを設置しています。

また、保護者証や来校者用ネームプレートについては、不審者対応のため各学校やPTAが独自で作成・設置しており、文言などについても学校やPTAで決めていますので、皆さんが提案されたように、学校関係者かどうかははっきり分かるような保護者証の採用を各学校へ提案していきます。

学校の体育館にエアコンを設置します！【三山中・芝山中・古和釜中】

体育館にエアコンを設置することで、体育や部活動などの学校生活が快適になるうえ、学童や地域のイベント時など、さまざまな場面で熱中症予防になります。また、避難所となる体育館ですので、避難生活のことも考え、体育館にエアコンを設置したいという提案でした。

＜市の回答＞

市内には、市立小学校が54校、市立中学校が27校、市立船橋特別支援学校が2校あり、全校の体育館にエアコンを設置するためには、エアコン機器の導入費用だけでも70億円から80億円かかると見込んでいます。さらに、市内のほとんどの学校の体育館は鉄骨造で、大きなエアコンを支えることができないため、エアコンの導入費用や維持管理費用以外にも、体育館自体の補強や改築など、設置するための工事が必要となります。

千葉県内の他の市町村では、浦安市は全校に、柏市が数校に設置しているとのことですが、船橋市としては、体育館へのエアコンの設置工事よりも外壁改修工事などの安全対策を優先して行っており、体育館へのエアコン設置は将来的な課題と考えています。

校庭を芝生にします！【三山中】

校庭を芝生にすることで、やわらかい芝生は足腰への負担も少なく、けがの防止、砂じんの飛散防止、周辺の民家への砂じん被害の軽減、校庭のぬかるみ防止、騒音の緩和、熱中症予防、地面の蓄積熱の発生を抑えて夏でも涼しいなど、さまざまなメリットがあるという提案でした。

＜市の回答＞

校庭の芝生化は、ケガの減少、安全性の向上、ヒートアイランド現象の緩和、砂塵の飛散防止などのメリットはありますが、芝生化した後の維持管理など、学校側の負担が大きいことなどから、残念ながら校庭の芝生化を進める予定はありません。

芝生ではありませんが、現在は砂埃対策として校庭散水栓設備の整備を進めています。



校庭散水栓設備

夏休みを短縮します！【御滝中・芝山中】

夏休みを短縮することで、学習環境が整っている学校のほうが集中して勉強できたり、行事準備や部活動の練習に使いたり、家に帰る時間が早くなり、余暇活動に使えるといった生徒側のメリットに加え、先生の業務量を減らすことができるという提案でした。

＜市の回答＞

平日の中学生の現状は、ほぼ毎日6時間授業を行っているため、放課後の生活にゆとりがなく、その分睡眠時間が短くなり、十分な休養が取れていないことが問題点として挙げられます。また、先生は帰りの会の直後から放課後の部活動や会議があり、その後残業して教材研究や授業準備を行うことがほとんどです。この問題を解決するために、平日6時間の日を減らし、その分夏休みを短くするという今回の提案内容は意義があります。

一方で、夏休みは先生が研修会などに多く参加し、生徒達は総体やコンクールに参加する機会でもあります。また、社会全体からみると日本の休暇は先進国の中で最少であり、まとまった休暇が取りにくい実態もあります。

このように、夏休みの短縮は一長一短で、多くの課題があるのが現状ですので、今後も研究していきます。

制服をなくし、服装を自由にします！【芝山中】

どこの学校の生徒か分かる制服は個人情報の1つであり、防犯面で問題があります。また、制服は動きづらかったり、温度調節がしにくかったりします。制服を暑いと思う人や寒いと思う人がいるかもしれません。体育などで毎回着がえなくてもいいので効率的なため、制服をなくし、服装を自由にしたいという提案でした。

＜市の回答＞

制服については、同じデザインの服を着ることにより、所属感を高めたり、毎日着ていく服を決めなければならない負担を少なくしたりするメリットがあります。

制服を採用するかどうかや、どのようなデザインにするかについては、各学校で制服の意義や経緯などを踏まえて決めています。そのため、制服の自由化は各学校の判断となるため、今回の提案について各学校に伝えていきます。

スズキやホンビノス貝を使った料理を、調理実習や給食に取り入れます！【海神中】

船橋市では、アサリなどの貝類の漁獲量が減少する中、今とれるスズキやホンビノス貝を活かすため、B級グルメの祭典で千葉県1位にもなった“すずきめし”や、“ホンビノス貝のチーズ焼き”などの料理を広めていきたいと思っています。そのために、学校給食でスズキやホンビノス貝を積極的に出して苦手意識をなくしたり、親しみやすいメニューを提供し、市ホームページなどで紹介したいという提案でした。

＜市の回答＞

学校給食では、毎月1回以上「船橋産の旬の食材を食べて知る日」を設定し、その中で、スズキやホンビノス貝などの船橋産の旬の食材を使用した献立をたてています。

また、調理実習に使う食材は各校が調達していますが、取扱店、予算、手に入りやすい時期、調理方法などの条件がそろそろ必要があります。特に、調理方法としては、肉や魚介類などは食中毒予防のため、加熱をして、しっかり中まで火を通すことが決められています。

ホンビノス貝などの生の貝は、砂抜きをする時間や他の食材に比べて気を付ける点があるので調理実習では取り入れる予定はありませんが、スズキは調理実習に取り入れることができるか検討したいと思います。

また、現在、多くの学校で給食の写真をホームページに掲載していますが、スズキやホンビノス貝を使用したメニューを、市ホームページで紹介することも検討していきます。



**千葉C-1 グルメ選手権！
B級グルメ1位の“すずきめし”**

ホンビノス貝



2. 道路や交通の整備

街灯をLED照明にし、明るくて広い道路にします！【高根中・千葉日本大学第一中】

事故や犯罪を減らし、安心して登下校できる道にするために、明るくて広い道路を整備したいという提案でした。

＜市の回答＞

市内にある街灯には、いくつかの種類があります。

①道路の安全のための「道路照明」

道路を明るくし、交通事故などを減らす役割がある道路照明は、現在、市内に約2,600基あり、新しく設置する道路照明は、LED照明で設置をしています。また、古い道路照明についてもLED化を進め、数年後にはすべてLED照明になる予定です。

道路照明を新しく設置して欲しい箇所があれば、現地調査を行ったうえで必要性について検討します。

②商店街を明るく照らす「商店街の街路灯」

商店街にある街路灯は、明るい魅力ある商店街環境を作るために各商店街が管理しています。市では街路灯の整備や照明交換を行う際の補助金を出していますが、令和元年度から、照明交換の補助対象をLED照明に限定しました。

これにより、街路灯がLED化されていない商店街についても、今後、照明交換を行うタイミングでLED化される見込みです。

③街の防犯のための「防犯灯」

犯罪を未然に防ぎ、より安全なまちにするうえで大変重要な役割を果たしている防犯灯は、現在、市内に約40,000灯あります。その設置や管理は、地域の事がよくわかり、不具合をすぐに発見し対応できる町会や自治会が行っており、市では設置のための補助金を出しています。

平成26年度からは、この防犯灯をLED照明にする場合の補助金の上限を引き上げ、町会や自治会が設置しやすい環境を整えたことから、平成30年度末で市内の防犯灯のうちおよそ7割がLED照明となりました。LED照明へ切り替えることでより明るくなるうえ、環境にもやさしく、電気料金も削減することができます。

今後も、町会や自治会と協力しながら防犯灯のLED化を促進していきたいと考えています。

市では、積極的に街灯のLED化をすすめていますので、まちの街灯を観察してみてください。

また、交通量の多い幹線道路などを中心に、道路を広げるなどの整備を進めています。道路を広げるためには、道路沿いの土地を取得する必要がありますが、土地の所有者の皆さんそれぞれの事情があるため取得に時間がかかり、道路の整備にはとても長い時間がかかっています。

小型の定額バスや無料の市営バスを走らせます！【八木が谷中・旭中】

渋滞が起きないような短い距離を走る小型の定額バスや、高齢者向けの無料市営バスを走らせて、公共交通が不便な地域に住む方や、足腰に負担のかかる高齢者の移動手段を確保したいという提案でした。

＜市の回答＞

鉄道もバスも通っていない公共交通が不便な地域の移動手段を確保することは、高齢化が進む市内でも重要な課題となっています。提案のとおり、小型の定額バスや市営バスを走らせることで移動手段の確保ができるかもしれませんが、現在、市内を走っている路線バスは民間のバス会社が運行しており、市営バスを新たに運行することで民間のバス会社の経営を圧迫してしまい、現在のバス路線の減便や廃止につながってしまう恐れもあります。そのため、市営バスを走らせることは難しいと考えています。

市では、小型バスを運行する「公共交通不便地域解消事業」や、老人福祉センターのバスや教習所・自動車学校の送迎バスがボランティアで高齢者を乗せる「高齢者支援協力バス」などの事業により、高齢者の移動手段を確保しています。

今後も、バスも含めて移動手段の確保のためのさまざまな方法を検討していきます。

ガードレールなどを増やしたり、道路をきれいにしたい！【千葉日本大学第一中・二宮中・法田中】

歩道が狭い道にガードレールを設置したり、危ない交差点にカーブミラーを増やして安全な道にします。また、市と連携し、道路の現状を知るためのアンケートをとり、道路状況を把握したり、汚れているカーブミラーの清掃をボランティアにお願いしたいという提案でした。

＜市の回答＞

ガードレールやカーブミラーの多くは市が管理しています。ガードレールやカーブミラーを新しく設置して欲しい箇所がありましたら、市に連絡してください。現地調査を行い、必要性や設置箇所を検討します。また、消えそうな路面標示についても、市に連絡していただければ現地を確認し、書き直します。

道路などの損傷箇所の把握については、提案にあるアンケートの実施は、調査から結果の集計まで時間がかかってしまいますので、月1回の市内全域のパトロールに加え、市民からの通報による現地確認を随時実施しています。

ボランティアによるカーブミラーの清掃については、カーブミラーは道路上の高い所にあるため、ボランティアの方による清掃は危険が生じます。市で清掃や交換などを行いますので、汚れているカーブミラーがありましたら市に連絡してください。

＜道路の保全に関するお問い合わせ先＞

道路部 道路維持課 TEL：047-436-3222

E-mail：doroiji@city.funabashi.lg.jp



3. 高齢者、障害者、外国人にも優しいまちに

バス停の時刻表を多言語対応やデジタル化します！【八木が谷中】

バス停の時刻表をデジタル表示し、バスが今、どこを走っているのか、どのくらい遅れて到着するのかが分かるようにします。デジタル表示にすれば多言語にも対応できるので、外国からの観光客も便利になるという提案でした。

＜市の回答＞

バス会社では、バス停での多言語化を少しずつ進めているところです。例えば、京成バスでは市内全てのバス停で日本語と英語の2か国語表示を行っています。

また、バス時刻表のデジタル化については、バス会社に確認しましたが、バス停留所をデジタル表示に改修するためには、時間と費用がかかりますので、パソコンやスマートフォンでバスの時刻表や位置情報を確認できるよう整備をお願いしたいと考えています。

駅などのバリアフリーをすすめます！【高根台中】

高齢者や障害のある方の移動を助けるために、駅を中心にスロープなどのバリアフリー化を進めたいという提案でした。

＜市の回答＞

道路のバリアフリー化については、歩道の段差を減らすなど今後も進めていきます。

駅の出入り口やホームにスロープやエレベーターなどを設置するバリアフリー工事は、工事費用の一部を国と市で補助し、平成29年度に市内の全駅で整備が完了しました。

今後は、駅の出入り口が複数ある駅について、他の通路についても鉄道会社にスロープも含めたバリアフリー化をお願いしたいと考えています。



京成線中山駅の段差解消工事

外国の方と気軽に交流できる場をつくります！【若松中】

船橋市にも外国の方と気軽に交流できる場所が欲しいと考え、市民まつりなどで、外国の方に母国の伝統の遊びを教える店や、母国の食べ物が味わえる店を出してもらいます。また、商店街で特に中学生が集まりやすいような飲食店、洋服屋、雑貨屋などに外国の方を日時、時間帯を決めて招き、軽い挨拶をしたり、簡単な会話をしたりして、小さな子供から大人まで楽しみながら外国の方と交流を深めたいという提案でした。

＜市の回答＞

外国の方との交流の場としては、毎年7月末に開催している「ふなばし市民まつり」では、まつりの一環として市民参加型のフリーマーケットイベント「ジョイ&ショッピングフェア」を実施しており、そこでは、実際に外国の方も出店して母国の食べ物などを販売しています。

また、船橋市国際交流協会と協力して、日本語教室や災害時外国人支援サポーター養成講座（※1）を公民館などで行っているほかにも、「日本語教室で勉強した日本語を話す場所が欲しい」「自分の日本語が通じるか試したい」といった外国の方と日本人ボランティアが気軽に日本語で会話を楽しむ「日本語ひろば」を開催しています。「日本語ひろば」は、月曜日と木曜日の13時から15時に、船橋市国際交流協会サロン（南本町3-9）で開催していますので、夏休みなどの長いお休みの時に、皆さんぜひ顔を出してみてください。詳しい開催日は、船橋市国際交流協会ホームページで確認してみてください。

現時点では、外国の方と交流できる場は多くありませんが、市では、商店街のにぎわいづくりのために、商店街を訪れた方と一緒に参加できるようなイベントを行うための補助金を出しています。今後、提案内容を各商店街に伝え、外国の方と気軽に交流できる場所づくりについて検討し、同じ地域で一緒に生活する方たちが楽しく集まれるようなイベントの開催などを考えていきます。

（※1）災害時外国人支援サポーター養成講座

災害が起きた時、日本語が分からないことで日本人以上に困ってしまう外国の方を支援するための方法を学ぶ講座です。小学生でも理解できるレベルの「やさしい日本語」を使って外国の方を支援する研修や、市内の学校の1つを会場にして外国の方と一緒に、「避難所宿泊訓練」を行っています。参加対象は高校生以上なので、ぜひ中学校卒業後も関心を持ち続けて参加してみてください。

＜令和元年度 災害時外国人支援サポーター養成講座の概要＞

第1回：災害支援経験者による講話『災害時に外国人住民が抱える課題とボランティアに期待される役割』（8月10日 土曜日）

会場：市役所職員研修所 参加者：29名

第2回：避難所宿泊訓練（8月24日 土曜日 ～ 8月25日 日曜日）

会場：船橋中学校 参加者：110名（うち外国人参加者57名）

シニアカーを身近なものにして普及させます！【旭中】

高齢者の交通事故をなくし、高齢者に優しい船橋市にするために、車を自分で運転したい方やバスの待ち時間が嫌な方なども、車よりも安全に運転することができるシニアカーを普及させたいという提案でした。

＜市の回答＞

シニアカーを身近なものにして普及させるという提案ですが、市では、高齢のために歩くことが難しくなった方などに、「これまでどおりの生活を送るためには介護や支援が必要」という認定（要介護認定）をしています。そして、この認定を受けた方が福祉用具の専門業者からシニアカーをレンタルするとき、市は、その費用の一部を「介護保険」で支給しています。支給額は、認定を受けた方の収入によって変わってきますが、支給額が多い方は月に約１，５００円～２，５００円ほどの費用でシニアカーをレンタルすることができます。

この他にも、市では歩くことが難しいなどの要件を満たした高齢者に対して、買い物などに使う手押し車であるシルバーカーの給付やタクシー料金の一部を助成する「タクシー券」を交付しています。



シルバーカー



シニアカー
（出典）スズキ株式会社ホームページ

高齢者ドライバーの講習を、公民館など各地で定期的に行います！【大穴中】

高齢者ドライバーのアクセルの踏み間違いによる事故を防ぐために、アクセル踏み間違い防止装置の購入補助や、免許センターで行っている７５歳以上が受ける高齢者講習よりも若い方を対象に、６５歳から７４歳のドライバー向けの講習を定期的で開催して、高齢者ドライバーの意識を変えたいという提案でした。

＜市の回答＞

市では、令和元年度より自動車メーカーとの共催で、高齢者ドライバーを対象にアシストブレーキの体験や理学療法士による認知機能維持のための運動など健康安全運転講座を開催しています。今年度は２回開催し、今後も年２回の開催を予定しています。

また、毎年春と秋に行われる「全国交通安全運動」でのチラシの配布などで、アクセル踏み間違い防止装置や安全運転サポート車を知ってもらったり、免許の返納を皆さんに考えてもらうための活動を行っています。

なお、アクセル踏み間違い防止装置の購入費用の補助については、国・県・先進市などの動向をみていきたいと考えています。



4. まちをもっとキレイに

ごみを捨てたくなるようなごみ箱をつくります！【宮本中】

登下校中にポイ捨てされたごみをよく見かけるので、船橋市をもっときれいにするために、ごみを捨てたくなるようなごみ箱をまちの中に置くという提案でした。

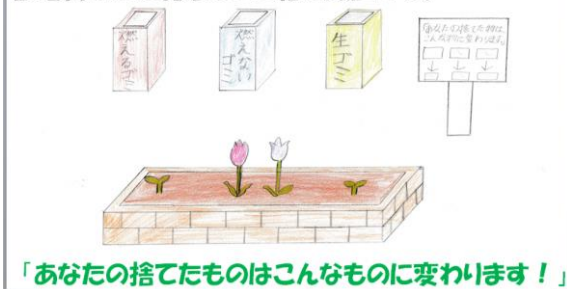
＜市の回答＞

市では、ごみのポイ捨てをなくすために「クリーン船橋530（ごみゼロ）の日」や「船橋をきれいにする日」といった市内全域を対象とした清掃活動の実施や、「環境美化モデル活動認定制度」により地域で行われている環境美化活動の支援などを行っています。

提案で紹介された、千葉県のエコ絵画コンクールで毎年作品が募集されている「未来のごみ箱」はどれも、まちに置いてあったらごみに対する意識が変わるような作品ばかりですが、ごみをきちんと捨てたくなるようなごみ箱をまちの中へ設置することは、捨てる方が便利になる一方で、家庭ごみを捨てられてしまったり、いたずらをされてしまうなど、ごみが増えたり、ポイ捨てを増やす原因にもなってしまいますので、まちの中にごみ箱を置くことは難しいと考えています。公園やコンビニの外などにあるごみ箱も、同じ理由でなくなってきています。

皆さんの出したごみや有価物がどのようにリサイクルされるのかについては、ごみの減量や資源化をお知らせするために年2回発行している「リサちゃんだよりプラス」や市ホームページなどで、わかりやすくお伝えしていきます。

住宅街などに花壇とゴミ箱を設置する。



宮本中考案のごみ箱

Vol.7 発行日 令和元年7月1日

リサちゃんだより+

捨て前にはひと工夫！

市民説明会の開催を受け付けています
詳しくはこちら↓

気温が高くなる時期になるのが生ごみの臭いです。生ごみの臭いは「腐敗」が原因で発生します。臭数は「水分」と「高い気温」で進むため、水切りと温度対策が効果的です。水切りの徹底や捨てる時のひと工夫で、生ごみの臭いを予防しましょう。以下で方法をご紹介します。

- ◆水分を減らす
水切りネットなどを活用し、捨てる前に水をよく絞る。
- ◆臭や臭のトレーの水分を取る
肉や魚のトレー、味噌のパックなどは洗って乾かす。トレーに敷いてあるマットは、なるべくすくい取ります。
- ◆冷凍する
新聞紙やチラシに包み、ビニールに入れて冷凍する。臭の内部にまで、臭いや水分がこぼれに効果的です。
- ◆味噌、お茶、コーヒーの出がらしを使う
味噌や味噌汁の残りなど、お茶やコーヒーの出がらしは、半量減量させて生ごみに混ぜると、臭いを軽減します。

⇒市民説明会の開催を受け付けています
家庭系可燃ごみの収集回数の見直しについて、ご意見をいただき誠にありがとうございます。市では、焼ごみの分別や食品ロスの削減など、ごみの減量と資源化を推進するため、今後も市民説明会を実施して参ります。疑問を解消するための質問窓口の開設も検討していますので、ぜひお申込みください。

問い合わせ 資源部課 047-436-2433

リサちゃんだよりプラス

三番瀬で中高生を中心としたごみ拾いと生き物集めのイベントを行います！【七林中】

ふなばし三番瀬海浜公園をきれいにするために、ごみ拾いと生き物集めのイベントを行います。イベントは、拾ったごみの量やごみの種類、集めた生き物の重要性などを話し、船橋市の干潟を守ろうという意欲を高める意見交換を含めて、全5日間の日程で行いたいという提案でした。

＜市の回答＞

ふなばし三番瀬海浜公園前の浜は、多くのボランティアや企業の方の協力で、きれいな状態になっていますが、野鳥の写真撮影や潮干狩りなどで訪れる方も多く、また、海からごみなどが流れ着くことから、どうしてもごみが自然に集まってしまいます。ふなばし三番瀬海浜公園をきれいにする活動の1つとして、毎年10月末頃に開催している「ふなばし三番瀬クリーンアップ」では、市民・事業者・環境団体・行政が参加し、浜の清掃や自然観察会などのイベントを行っています。令和元年度は清掃に624名、イベントに約100名が参加しました。

「ふなばし三番瀬クリーンアップ」をどのように行うかは、実行委員会を作って市民の皆さんと一緒に考えています。またクリーンアップ終了後も集まって意見交換をしています。こうした中で、提案のあったごみ拾いや生き物集めのイベントを中高生の皆さんと一緒に考えて、三番瀬の重要性の話をしたいと思います。

そのために、実行委員の募集の際に市内にある中学校や高校に声掛けを行い、中高生の実行委員を募集したり、「ふなばし三番瀬クリーンアップ」のチラシを市内の中学校や高校に配布し、参加者を広く募集することを検討します。

また、毎年夏休みの期間に開催している「ふなばし夏のボランティア体験」では、三番瀬干潟で行われる観察会などでのボランティアを募集していますので、ぜひ参加してみてください。



「ふなばし三番瀬クリーンアップ」の様子

ごみ収集を20～22時にし、ごみ収集ステーションにカン回収ボックスを併設します！【習志野台中】

ごみの量を減らしてもっと効率的なごみを収集する方法として、車の交通量が少なく、カラスなどの被害も出にくい夜にごみ収集を行います。全ての日で夜に収集することが難しい場合は、2週間に1度朝に収集してもよいのではないのでしょうか。また、にのいの少ないカンの収集を2週間に1回にするために、ごみ収集ステーションにカン回収ボックスを併設したいという提案でした。

＜市の回答＞

現在、可燃ごみ収集は市内を大きく2つに分けて、日中地域は8時30分に、夜地域は19時に開始していましたが、夜地域にお住まいの方から、「仕事をしているので、19時までにごみを出すことができない」といったご意見をいただいております。その改善策として、令和元年12月2日から、夜地域の収集開始時刻を19時から19時30分へ変更しました。

提案のように、ごみ収集を20時から22時に行うことは、収集車や働く方を大幅に増やすことが必要なため、難しいです。また、収集開始時刻を30分遅くして20時から行うことは、深夜の作業による騒音や振動の問題があります。さらに、日中の収集を全て夜の収集に変えるためには、夜遅くまで働くことができる方を確保することが必要なため、すぐに実現することは難しいと考えます。仮に全て夜に収集する場合にも、提案のように2週間に1度朝に収集すると、間違った時間にごみを出してしまう方が多くなる心配がありますので難しいと考えます。

また、カンの収集についてですが、カンのごみ収集ステーションに出される量から、週1回の収集としています。ごみ収集ステーションにカン回収ボックスを併設する提案については、市内のごみ収集ステーションは道路上にあるものもあり、道路以外のごみ収集ステーションでも十分にスペースがない状況です。また、カン以外のものを捨てられる、飲み残しにより悪臭や害虫が発生するといった懸念があり、ごみ収集ステーションの管理は、利用する方をお願いしていることから難しいと考えます。

ごみゼロ運動やフェスで、船橋の名産品をPRします！【小室中】

もっと特産品のPRをしたいと思い、ごみゼロ運動に参加した市民に対し、企業がイメージアップや市民の意見を商品に反映させることができるよう、試供品や割引券を配布したり、船橋アリーナなどでフェスを開催し、船橋の名産品をPRするための企業ブースを設けたいという提案でした。

＜市の回答＞

船橋市の特産品は、農産物や海産物、加工品などがあります。

農産物については、ごみゼロ運動は、町会ごとにいろいろな会場で行っていますので、すべての会場でのPRは難しいですが、その年のメイン会場で船橋のブランド野菜の1つである「船橋にんじん」のPRを考えていきます。そのほか、「クリーン船橋530（ごみゼロ）の日」や「船橋をきれいにする日」の各イベントのセレモニー会場でPRを行う場所の提供や、市職員がPR活動のお手伝いをすることもできます。

加工品については、市内外における催事開催やイベントへの出店により、「ふなばしセレクション認証品」（※2）のPRを行っています。

また、市内の企業を広く市民に知っていただけるように、「めいど・いん・ふなばし」（※3）を開催し、毎年夏に市内で作られている製品の展示などを行い、提案にあるような商品展示や試食なども行っています。

今後も、このようなイベントにできるだけ多くの企業に参加していただき、市内の企業のPRにつなげられるよう努めていきます。また、市とコラボした新商品や限定商品については、今後の参考にさせていただきます。

（※2）ふなばしセレクション認証品

ふなばし産品ブランド協議会が市内の優良な商品を広く募集し、厳正な審査を経て認証された商品です。令和元年度は、10品の加工食品を認証しました。認証期間は3年間で、協議会のホームページやチラシなどでのPRや販売機会の提供などを通じて、ブランド化を支援していきます。

（※3）めいど・いん・ふなばし

毎年7月に行われる「ふなばし市民まつり」の一環として開催しています。船橋市内で作られた製品の展示などを行い、本市の工業を広く市民の皆様に理解してもらうとともに、企業と地域社会との結びつきを強め、工業の振興を図ることを目的としています。





5. 住みやすい環境づくり

野良猫を減らし、猫カフェをつくります！【宮本中】

最近外出する際に野良猫をよく見かけ、近年、猫の殺処分率が急激に増加しているため、猫カフェをつくり、身近なところに猫と触れ合う環境ができることで、猫を無理に飼う方や、野良猫や保護施設で保護されている猫が減り、里親も見つけることができるという提案でした。

＜市の回答＞

猫の殺処分は全国的に大きく減少していますが、動物愛護指導センターでは、毎年多くの子猫や飼えなくなった猫の引取りをしています。引き取った猫は譲渡に努めていますが、感染症などの病気や負傷している猫など譲渡にふさわしくない猫は殺処分になる場合があります。野良猫が減り、動物愛護指導センターで引取る猫が減少すれば殺処分は減りますので、まずは、野良猫の繁殖を防ぐことが必要です。

そのために、市では野良猫への無責任な餌やりをする方へ指導すること、町会や自治会と協力して野良猫の不妊手術を実施すること、猫を飼っている方に猫の屋内での飼養や終生飼養など正しい飼い方の普及や啓発を進めています。

次に猫カフェについてですが、猫カフェはすでに民間で経営されています。市としては、民間ができることについては民間で取り組んでいただく必要があると考えておりますので、猫カフェについて市で運営することは考えておりません。

なお、過去に市の動物への考えにご理解とご協力をいただける猫カフェの経営者に、猫の譲渡を行ったこともありますので、こうした民間の経営者の経営方針が市が考える方向性と合うなどの条件が整えば、猫カフェで譲渡会やしつけ方教室を開催することも考えられますので、市の考え方の普及や啓発などに努めていきたいと考えています。

防犯用の監視カメラを設置します！【千葉日本大学第一中】

事故や通り魔などの犯罪を減らすために、暗い道に優先的に防犯用の監視カメラを設置したいという提案でした。

＜市の回答＞

地域の防犯対策は、「船橋市犯罪のないまちづくり条例」の「自らの安全は自ら守るとともに、地域の安全は地域で守る」と基本理念にありますように、町会や自治会が担うものと考えています。

市では、地域防犯のため自主パトロール組織を結成し活動する町会や自治会への支援の1つとして、防犯カメラ設置に対して補助金を交付しています。

また、市が防犯カメラを設置する場合には、設置場所の選定基準や補助金制度とのすみ分けなどについて、明確に規定する必要があると考えています。

空家を利用して子ども食堂を増やします！【前原中】

子ども食堂は、安全で安心、健康的な食事がとれ、1人で食事をするわけではないため寂しくありません。また、アットホームな雰囲気の場所が多く、近所の集いの場となり、多世代の交流場所として活用できるなどのメリットがあります。

また、子ども食堂を空家や団地の空部屋につくることで、キッチンや食べるためのスペースも十分にあり、新しい施設をつくるための経費も節約でき、子ども食堂がより身近な存在になるという提案でした。

＜市の回答＞

現在、市内にある子ども食堂は民間団体が運営しています。市では、ふなばし子ども食堂ネットワークが作成した「船橋市内こども食堂MAP」のリーフレットを児童家庭課（市役所3階）や地域福祉課（県合同庁舎4階）などの窓口で配布や掲示しているほか、市や県のホームページでも紹介しています。

空家は個人の財産となりますが、市では空家を子ども食堂を含めたさまざまな形で活用ができるよう、相談窓口を設けています。

現在、市内に空家を利用した子ども食堂は1箇所しかありませんが、地域の方々から子ども食堂を立ち上げたいとの話があった際は、空家の活用や食材の提供など、運営のノウハウを持っている団体の紹介や運営を始めるための補助制度を案内するなどの支援をしていきます。

ボール遊びができる公園を周知し、新しい公園を増やします！【二宮中】

ボール遊びができる公園の場所が書いてある「公園でのボール遊びパンフレット」の周知や、家の近くに公園がないので増やしたいという提案でした。

<市の回答>

①ボール遊びのできる公園を周知します。

「公園でボール遊びがしたい！」という、平成26年度の「こども未来会議室」での提案を受け、身近にある公園を対象に平成28年度からの3年間で、ボールで遊ぶ際のルールづくりや広場の面積、ネットフェンスの有無など、ボール遊びができる公園の条件整理などを行いました。

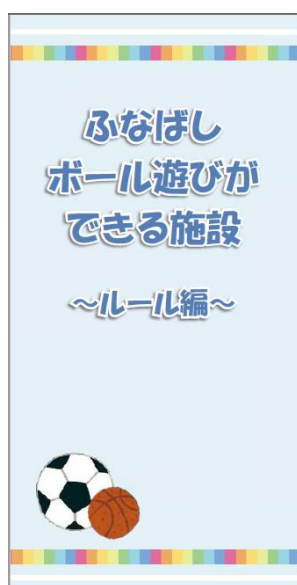
そして、令和元年7月に、ボール遊びのできる施設（27施設）やルールを案内する「公園でのボール遊びパンフレット」を作成し、公園緑地課（市役所4階）、出張所、連絡所、公民館などで配布しているほか、市立中学校の全生徒に配布しました。

今後も、今ある公園でボール遊びができるようにボール遊びのルールの周知を図り、地域や近隣の方々の理解を得ながら、ボール遊びができる公園を増やしていきたいと考えています。

なお、二宮中学校の周辺では、田喜野井公園と田喜野井まちかどスポーツ広場をボール遊びのできる施設として紹介していますので、ぜひ遊んでみてください。

②新しい公園を整備します。

1人当たりの公園面積が不足している状況は、市においても課題となっていますが、新しい公園を整備するためには、用地の確保や地域住民との協議、調整などに時間がかかることから、提案内容については、公園の整備計画を進めていくなかで検討していきます。



公園でのボール遊びパンフレット

船橋版「コードブルー」プロジェクト会議を作成します！【飯山満中】

市民の方から直してほしい場所を写真に撮って市役所に送ってもらい、より早くその場所を直してもらうというシステムを構築するという提案でした。

＜市の回答＞

現在、市ではパソコンやスマートフォンをお持ちの方が利用できる「電子ポスト」で、市政に対するご意見やご要望を受け付けていますが、この「電子ポスト」は、セキュリティの観点から写真を添付することができません。

提案にある、直してほしい場所の写真を市に送るための方法としては、「電子ポスト」で写真を送ることができるようにシステムを改修する方法や、千葉市が導入している「ちばレポ」(※4)のような専用のアプリケーションを導入する方法などがあります。

いずれにしても、セキュリティの問題や、写真に写りこんでしまう家や車のナンバーなどの個人情報の問題など、写真を送るためにはさまざまな課題がありますので、慎重に検討していきます。

(※4) ちばレポ

千葉市内で起きているさまざまな課題を、ＩＣＴ（情報通信技術）を使って、市民がレポートすることで、市民と市役所（行政）、市民と市民の間で、それらの課題を共有し、合理的、効率的に解決することを目指す仕組みです。



6. 船橋をもっと盛り上げよう

千葉ジェッツふなばしと共同で船橋をPRします！【坪井中】

船橋産の食材の地産地消（船産船消）につなげるため、船橋がホームタウンである千葉ジェッツふなばしと共同で、船橋の特産品である小松菜や人参、スズキなどを使った料理を開発し、船橋アリーナなどで販売したいという提案でした。

<市の回答>

提案を受けて、千葉ジェッツふなばしの担当者と関係部署を含めて、実現に向けて打ち合わせなど調整をしています。PRにおいては、食材の調達や調理、販売など多くの方の協力が必要なため、さまざまな関係部署と話し合いを進めていきます。

また、令和元年12月3日に坪井中にて実施した「給食レストラン」で、坪井中の皆さんが考案した「にんじんコロッケ」をアレンジした料理を提供しました。



坪井中で提供した
「にんじんコロッケ」

ばか面をもっと有名にします！【湊中】

船橋の伝統であるばか面は、市外ではほとんど知られておらず、知らない市民もいるため、ふなばし市民まつりで紙製のばか面うちわを配り、もっとばか面を有名にしたいという提案でした。うちわの裏面には、ばか面の歴史などの説明を載せて、ばか面を正しく理解してもらえるような工夫がされています。

<市の回答>

ばか面は、船橋に根付いた伝統芸能の1つであり、後世に歴史を伝えていくことはとても大切なことです。船橋市は現在も人口が増えており、船橋市に新しく入ってくる方に対しても、ばか面を知ってもらいたいと考えています。

毎年7月に行われる「ふなばし市民まつり」は、市役所のほか、船橋商工会議所、船橋市観光協会、商店会連合会、地域工業団体連合会、貿易振興会の関係6団体で構成している「ふなばし市民まつり実行委員会」の主催で行っていますので、実行委員会で「ばか面うちわ」について提案します。提案の実現については実行委員会が決めますが、この提案が実現することになりましたら、提案した湊中の皆さんにデザインなどの協力をお願いするかもしれませんので、その際はご協力をお願いします。



湊中考案の「ばか面うちわ」

スポーツ施設と音楽ホールを増やします！【三山中】

天皇杯で3連覇するなど、功績も人気もある千葉ジェッツふなばしのホームタウンとして、たくさんの方を収容できるように施設全体を広くします。また、音楽ホールを増やすことで、市民が音楽などに触れ合う機会を増やしたいという提案でした。

＜市の回答＞

①スポーツ施設について

スポーツ施設は、最近では平成30年5月に、田喜野井まちかどスポーツ広場をオープンしました。

また、市には多くの方を収容できるようなスポーツ施設として、運動公園や船橋アリーナがありますが、同様の大きい施設を作るためには、広大な土地の確保や大規模な整備が必要なため、今は難しいと考えています。

今後、スポーツ施設が建設できるような広大な土地などが確保でき、スポーツ施設の整備が可能になった際には、どのようなスポーツ施設を整備するかも含めて検討します。

②音楽ホールについて

船橋駅の近くにある船橋市民文化ホールは、定員が1,000人のホールで、音楽、演劇、舞踊、講演会などの催しで多くの方に利用されています。しかし、船橋市民文化ホールは、設置から40年以上が経過し老朽化が進んでおり、今後、大規模な改修が必要となってくることが予想されます。

提案にある、船橋市に新たな音楽ホールを設置するためには、建設費以外にも、管理や運営をしていくために多くのお金が必要となりますので、将来、建て替えなどを検討する際には、市に必要なホールの規模、機能、財政状況など、さまざまな観点から慎重に考えていきます。

ゆるキャラで船橋を盛り上げます！【葛飾中】

全国各地でゆるキャラが人気を集めており、その絶大な効果を船橋のPRに活用するために、船えもんInstagramを開設したり、市内中学校対抗ゆるキャラグランプリを開催し、グランプリに輝いたキャラクターによる船橋をPRする企画を行いたいという提案でした。

<市の回答>

実は、船えもんは“船橋市のキャラクター”ではなく、船橋の「ええもん」を発掘・PRする“ふなばし産品ブランド協議会のPRキャラクター”です。船えもんの本業は「ふなばしセレクション」のPRですが、市のPRと市の魅力的な商品のPRの目指すところは同じであると考えています。

また、船えもんのInstagramは開設済みで、船えもんが参加したイベントの様子などを投稿していますが、葛飾中学校の皆さんの目に触れなかったということは、発信力が足りなかったと認識し、配信回数を増やしたり、魅力的な写真掲載を目指していきたいと考えています。

なお、船えもんは市の観光PR動画「船橋市役所特案係」にも出演していて、市内の魅力発信に協力しています。市ホームページからも観ることができますので、ぜひご覧ください。



葛飾中考案の“葛の葉レンジャー”

小松菜を有名にします！【行田中】

まだ、全国に知られていない小松菜を、小松菜スムージーで有名にします。また、後継者が不足している農業の方のためにスマートアグリを導入して、農業の効率化や若者の雇用を進めたいという提案でした。

<市の回答>

市では、農産物ブランド推進事業により、船橋の小松菜のブランド化を進めるため、PRイベントやPR用の販売促進物資などを推進した結果、今まで新聞やテレビなど各種メディアで取り上げられました。

現在、小松菜をパウダーやペーストにして、パンやクッキーなどに練りこんだ商品を開発していますが、提案いただいた小松菜スムージーについては、小松菜のPRイベント時にレシピを紹介し、小松菜消費拡大に努めていきます。

スマートアグリは現在、梨で検証を行っています。検証の結果によっては、今後、小松菜をはじめ他品目についても検討していきます。

今後も引き続き船橋の魅力あるブランド農産物である小松菜のPRに力を入れ、知名度向上に取り組んでいきます。

「特産品」小松菜スムージー

小松菜1束
りんご2分の1
バナナ1本
ヨーグルト大さじ3
はちみつ適量

小松菜スムージー1杯で
一日に必要なカルシウムの
約2分の1とれる



行田中考案の “小松菜スムージー”

アンデルセン公園でデンマークと船橋のコラボ企画を実施します！【豊富中】

船橋市の名所であるアンデルセン公園で、船橋とデンマークのコラボ企画を実施したり、近隣施設とコラボしたり、近隣施設に立ち寄るシャトルバスを運行して、少子高齢化が進む豊富地区のまちおこしをしたいという提案でした。

＜市の回答＞

①デンマークと船橋のコラボ企画について

アンデルセン公園では、デンマークに関連した企画などを実施しており、これからもさまざまな企画を実施していく予定です。

＜主な実施企画＞

- ・平成 29 年度に北欧フェアを開催
- ・デンマーク関連の企画展
（令和元年度は 9 月 7 日～11 月 4 日に「THE アンデルセン展」を開催しました）
- ・きりがみコンクール
- ・デンマークグッズの販売
- ・デンマークをイメージしたカフェでの軽食販売

②メグスパとのコラボについて

アンデルセン公園とメグスパとのコラボについては、アンデルセン公園の当日入場券を提示して、メグスパ食堂で食事を注文された方にはドリンクを 1 杯無料にするサービスを、年間を通して行っています。その他、アンデルセン公園にメグスパのポスターを掲示したり、メグスパのホームページにリンクのバナーを貼るなども行っています。

今後も両施設の連携について取り組んでいきます。

③三咲駅や小室駅からのバスについて

三咲駅からアンデルセン公園に行くバスは、令和元年度のダイヤ改正で土日の便を増やし、ゴールデンウィークなど混雑する時期は随時臨時バスを出しています。

また、小室駅からアンデルセン公園に行くバスは、利用者が少ないため便数が少ないですが、利用が増えれば増便するようバス会社をお願いしたいと考えています。

最寄りの 2 つの駅以外にも、船橋駅と北習志野駅からもアンデルセン公園前のバス停へ行く路線バスがありますので、今のところシャトルバスの運行は考えていません。



ふなばしアンデルセン公園



ふなばしメグスパ

Instagramでフォトコンテストを開催します！【飯山満中】

船橋市内の隠れた名所や自分のお気に入りの場所など、船橋らしさがあふれる場所を、写真を用いてたくさんの人に伝えます。自分の強調したい説明を加えて投稿することもできます。

写真はInstagramに投稿してもらい、フォトコンテストを開催して優秀な写真を選び、その写真を撮ることができる場所にフォトスポットの看板を設置するなど、写真を使って船橋をPRしたいという提案でした。

＜市の回答＞

Instagramは、写真の投稿が手軽にできることや視覚的効果が高いといったメリットがある反面、リンクを貼ることや通知が来ないなど、拡散性が低いというデメリットもあり現在は導入を見合わせています。

フォトコンテストを開催すること自体は非常に面白い企画であると思いますが、市民の方からの投稿を直接アップすることで、悪意ある投稿が防げなかったり、了解を得ていない第三者の写真が勝手に投稿されたり、知らぬ間に他のサイトでも公開されてしまうなどのリスクもあります。しかし、他の媒体を使ったフォトコンテストであれば検討できると思います。

なお、現在市の魅力を発信するために市ホームページで「魅力発信サイト FUNABASHI Style」を開設し、「見る」「遊ぶ」「食べる」「買う」などの情報を、写真を交えて発信している他、同サイトにはフォトライブラリーを設け、イベントや風景などの写真を紹介しています。フォトスポットについては、このサイトでの連携も含め検討していきます。



ふなばし三番瀬環境学習館を利用して、市の海の環境や漁業について広めます！【海神中】

ふなばし三番瀬海浜公園は船橋の海を知ることが出来ます。小学校の時に訪れたふなばし三番瀬環境学習館に、中学校でも学習の一環として訪れ、船橋市の海の環境をもっと知る機会があると良いという提案でした。

＜市の回答＞

ふなばし三番瀬環境学習館では、船橋市の漁業を考えるコーナーを開設しています。

また、環境学習館以外にも、公民館や自治会館などで行うまちづくり出前講座や、船橋市漁業協同組合で実施される漁業見学などにより、船橋の漁業についてPRを行っています。

そのほかに、ふなばし三番瀬環境学習館では、生物部などの部活動やボランティアサークル活動などの受け入れ、海の環境を知ってもらう活動を行っています。引き続き、部活動等グループ単位での活動受け入れについて中学校や高校に積極的に周知を行います。



ふなばし三番瀬環境学習館

小室地区に「田んぼアート」を作ります！【三田中】

2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催され、外国人観光客も含め成田空港を利用する方がますます多くなります。そこで、成田空港と東京を結ぶ鉄道が通り、広大な土地がある小室地区に田んぼアートをつくり、鉄道を利用する外国人観光客や他県の方に、日本のアニメや船橋を鉄道の車窓からPRしたいという提案でした。

＜市の回答＞

提案を受けて、小室地区で稲作をしている田んぼアートに詳しい農家の方に、小室地区で田んぼアートを行うことについてお話を伺うと、いくつかの問題があることがわかりました。

まず、市内では小規模農家が多く、田んぼアートの作成・維持・管理を行う人手の確保が難しいことに加えて、北総鉄道は作業の際に立ち入ることができず、田んぼアートがどのように見えるのかの確認を行うことができないため、展望地として不向きであり、それに代わる展望地が周囲にないことなどがあります。稲作農家の立場としても、市内は兼業農家がほとんどであり、通常の稲作作業より手間を増やすことは、他の仕事に影響が出てしまいできないとのことでした。

さらに、他市での田んぼアートの事例を調べてみると、遠近法を用いた図面の作成技術や、下絵を水田に落とし込む測量技術、稲の品種分けにより絵を描く栽培技術など、高度な技術とかなりの準備期間が必要であることもわかりました。

せっかくの提案ですが、人手、土地、技術、時間など解決困難な問題が多くあり、実現は難しいと考えています。

スズキやホンビノス貝のキャラクターや、アンテナショップをつくります！【海神中】

船橋の名産品であるスズキやホンビノス貝をPRするために、オリジナルキャラクターをつくります。また、船橋漁港に、スズキやホンビノス貝を使った料理が食べられるお店やキャラクター販売のアンテナショップをつくり、船橋の漁業について知ってもらいたいという提案でした。

<市の回答>

現在、船橋市漁業協同組合では、ホンビノス貝のPRのため、地元ミュージシャンとともに船橋市漁業協同組合公認のホンビノス貝PRソングを作成してPRを実施しています。

ご提案のキャラクターですが、船橋市漁業協同組合に相談しましたが、作成することは考えていないとのことでした。

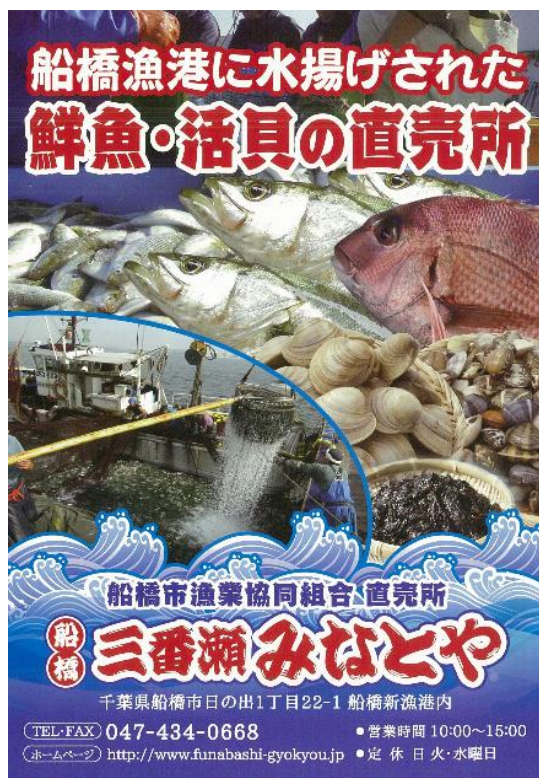
また、アンテナショップは、船橋漁港にはスズキやホンビノス貝、焼き海苔などの販売を行っている直売所「三番瀬みなとや」(※5)という直売所があります。駅前などの便利なおところにないため、まだまだ浸透していませんが、テレビや新聞などの各種メディアなどでPRを行っていきます。

(※5) 直売所「三番瀬みなとや」

住所：日の出1-22-1（船橋駅から徒歩約20分）

営業時間：10:00～15:00

定休日：火・水曜日



直売所「三番瀬みなとや」



実現した主な提案

「梨フェスティバル」を開催します！

平成29年8月29日に「なし味自慢コンテスト」の名称を変更して拡充された、市制施行80周年記念「なしフェスティバル」がららぽーとTOKYO-BAYで盛大に開催され、たくさんのお客様がいらっしゃいました！



街灯を増やして暗い道を明るくします！

平成27年度に「船橋市道路照明灯及び道路街路灯設置基準」を策定し、通学路を中心に暗く危険と思われる箇所への街灯設置工事をすすめています！

ボール遊びができる公園をつくります！

提案を受けて検討を重ね、5つの公園でボール遊びができるようになりました！



ボランティア体験イベントを開催します！

平成27年度から、将来のまちづくりを担う中学生から大学生を対象に、夏休み期間中に市民活動団体や福祉施設などでボランティア体験をしてもらう「地域に飛び出せ！ふなばし夏のボランティア体験」を、「あったかほっかほか船橋」プロジェクトの一環として開催しています！



中学2年生の皆さん、素晴らしい提案をありがとうございました！中学生
ならではの斬新な提案ばかりで、新しい発見がたくさんありました！
皆さんが真剣に考えてくれた提案をもとに、船橋市がより住みやすいまち
になるよう、全力で取り組んでいきます！

こども未来会議室プロジェクトチーム

令和元年度こども未来会議室報告書

編 集：こども未来会議室プロジェクトチーム
事 務 局：船橋市役所 市長公室 市民の声を聞く課
発行年月日：令和2年3月